

少子高齢化の影響で嘉楽学区も空家、民泊の増加で町は大きく変貌し、人口流出などで暮らしに悪影響を与え、これからどのように

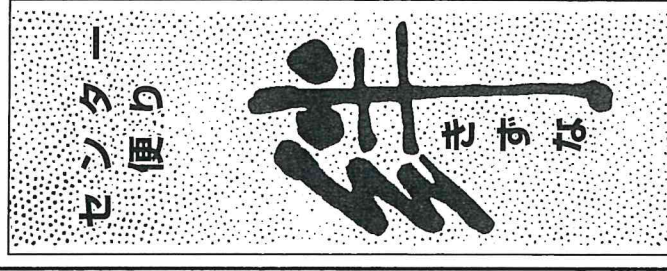
さて、嘉楽学区は昭和4年に、嘉楽中学の隣に嘉楽専門院の墓があつたことから嘉楽学区と命名されて現在に至っております。

昨年は、大阪北部地震をはじめ、台風21号、24号等々災害の多い年でした。被害に遭われた方々にお見舞い申し上げます。

平成31年の佳き新春を迎えられ、心よりお喜び申し上げます。

嘉楽社会福祉協議会 会長 喜多泰弘 (西陣会評議員)

西陣会さんと共に



第176号

発行所
社会福祉法人
西陣会

HP: <http://www.nishijin.org>
E-Mail: nishijinkai@nishijin.org

〒602-8464
京都市上京区元誓願寺千本東入ル
TEL (075) 451 - 8971
FAX (075) 451 - 5700

発行者: 水上 雄一郎
編集責任: 浅田 将之

郵便振替口座
01030-5-23086

ホームページでも
ご覧になれます

当法人への寄付金は、課税控除対象となりますので、その為の受領書が必要な方はお申し出下さい。

なっていくのか心配です。今まさに社会状況を考えれば、様々な変化や複雑な要素を抱え、問題は限りなく多いのですが、そんな中で嘉楽社会福祉協議会が果たすべき役割は、非常に大きい位置を占めている様に思えます。地域の方は心配があるのだろうか？

もつと地域活動に参画していただき、これから地域はどの様に成っていけばいいのか、みなさんと共に考えていきたい。これから団塊の世代が後期高齢者になる2025年問題以後いかに乗り切るか。

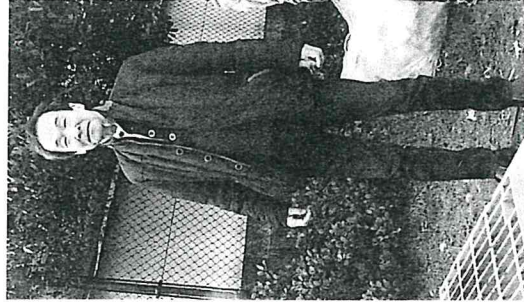
私と西陣会さんとの出会いは、平成13年に西陣会の後援会世話人になって以来、早17年になり、嘉楽わっしょ(嘉楽文化祭)や体育祭、防火訓練等々毎年職員の皆様にはお世話になり感謝申し上げます。また、職員の方々には嘉楽消防分団に入団頂き、地域活動に励んで頂いております。

西陣会さんは、障害を持つておられる方をはじめ、地域福祉事業を展開され、上下関係や横のつながりが強くうまく運営されているのに頭が下がる思いです。

今後災害があつた時に、地域とどう連携してゆくのかわ、私たちも何かお手伝い出来ないか、今のところ、行事案内を

して楽しんでもらうことしか出来ません。今後何か出来る事があれば一緒に提案して活動しましょう。

喜多さんは西陣会後援会世話人、嘉楽消防分団入団のお誘いや、千本100円商店街という地域の商店街イベント等へのお声掛けなど、いつも西陣会のことを気にかけて下さっています。



防災がまで焼き芋中

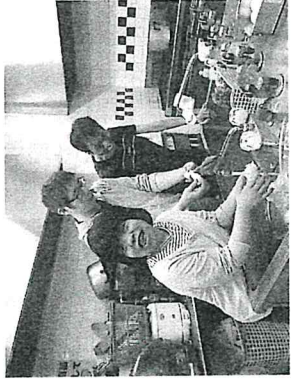
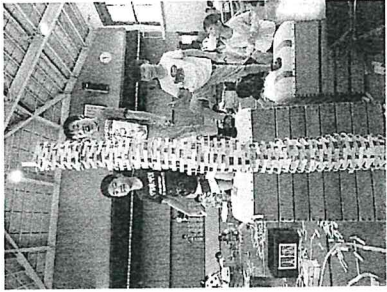


桜まつり開催予定

2019年4月7日(日)

船岡山公園野外音楽堂

2019年も 笑顔の花が咲きますように



地域生活支援センター

西陣会居宅サービス係

支援の現状

所長 浅田 将之

西陣会居宅サービス係が事業を始めて、15年が経ちましたが、皆様に満足、安心していただける支援が確立できておらず、多々ご迷惑、ご心配をかけており申し訳ございません。

最近もヘルパーとの外出中に、当方の支援の至らなさから、カラオケ店の壁を壊してしまわれる事故を起こし、ご本人にも辛い思いをさせ、お店の方にもご迷惑をかけてしまいました。

長年にわたり、このご利用者が親亡き後にも、地域生活を続けていただくにはどのような環境が必要か考え、学ばせていただきながら、これまでレスパイトサービス、居宅サービス係を立ち上げてきました。さらに既存の住まいの選択肢では足りないとの思いから、新たな住まいの場としてサービス付き障がい者住宅（夜間見守り付ワンルーム）の開設も実現しました。公益事業としておこなっている「ネイバーフッドきたまち」です。

もうひとつ、上京区内のマンションで一人暮らしを始めた方がおられます。インターネットで物件を探し、不動産会社に連絡し、西陣会が全面的にバックアップすることも伝え、いくつかの候補物件の見学や契約のご相談をしましたが断られ、管理会社の担当者との面接にも同行しましたが、結局は断られました。最終的には職員の見知り合いの不動産会社を通じて住まいは見つけましたが、断られる際にどこに壁があるのか、管理会社か、保証会社か、それとも家主様か、そしてその壁が何なのか理由は明らかにはしていただけません。障がいのある人の住まい探しの大変さを実感しております。

地域生活支援をするにあたって、支援の拠点となる「住まい」は基本ですが、社会の現実を目の当たりにして、この現実を変えていかないといけないという思いを強めています。

誰もが安心して暮らせる社会を実現しましょう！

デイセンターふらっと

防災訓練に参加して

主任 五十嵐 伸治

昨年新春号に記載がありました「嘉楽学区総合防災訓練」に今年はデイセンターふらっとが参加させていただきました。住所のある元四丁目町から利用者さん、職員合わせて17名。マンションで一人暮らしをされている利用者さんはヘルパーとで2名、所在地である笹屋町二丁目からの参加でした。

秋晴れの11月23日（金・祝）送迎車の関係で10時に会場である嘉楽中学校グラウンドに到着しました。訓練は9時から始まっており、着いた時には3グループに分かれての訓練が始まっていました。

「家庭による応急措置訓練」では、三角巾の使用法を学びました。怪我人役を嘉楽消防分団員である西陣会・デイセンターふらっとの浅田所長が迫真の演技でされていたので、利用者さんたちは皆さん不安そうな表情で見つめておられまし

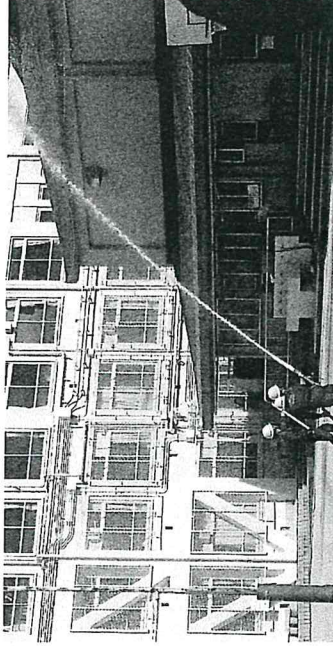
た。「簡易担架を使用しての救出訓練」では、利用者さんに担架に横たわってもらい職員で担ぎ上げました。また「起震車による体験訓練」では全員起震車に乗っていただき地震の揺れを体験してもらいました。その後の合同での放水訓練でも利用者皆さんに消防のホースを持ってもらい放水体験をしていただきました。最後に白岩上京消防署署長の訓練講評をいただいて、給食訓練（非常食）をいただいて帰りました。

既に区民体育祭に参加したこともあり、顔見知りの

方からは気軽に声を掛けていただいたりして、同じ地域の住民として参加できた事は利用者さん職員問わず貴重な体験になりました。今後も地域との交流を続けていければと思います。



放水訓練



訓練

シヨートステイゆつ

何だか眠れない夜

所 長 寺 田 文

先日の夕方、緊急の宿泊打診が入りました。概要としては「入所施設への入所日だったが建物に入れなかった(拒まれた)」「施設側としても対応(受入)困難となった」「今晚過ごす場所が無いので一晩だけでも何とかならないか」というものでした。

お会いした事も無く、障害特性や必要な支援内容等事前の情報把握もあまり出来ない中でどうすべきか判断に悩みました。「自分たちがお断りしたらその人は今晚どこでどのように過ごされるのだろうか……」「何も知らない場所・人と一緒に泊まる事がご本人の安心になるのだろうか……」「悩みながらでしたが、緊急一時的な過ごしの方という事業機能の責務から、一晩を過ごして頂く事にしました。

その夜は、不安から解放されたようにゆつくりと眠

られました。

ですが翌朝、情報把握の不十分や私たちの力不足もあって、上手くコミュニケーションが図れない・何を食べられるのかも分からないという事がありました。そのような関わりの中で、この方はどのような手段で入所するという事を伝えられ、理解をされ、行く行かないを表現されて施設に向かわれたのだろうか……という事を感じました。

「説明と同意」日常でどこまで徹底して大切にすることが出来ているのだろうか……。いつもの自分を顧みる機会にもなりました。そして、次の場所に向かわれるご本人の後ろ姿を見て、「何が出来たんだろう……」というモヤモヤ感や不甲斐ない感情が残りました。

この感情に真摯に向き合わないといけない。そう感じさせられた一日でした。

MY MOTHERS

嘉楽学区の温かさ

田 中 尚 樹

去る、10月8日(祝・月)に嘉楽区民体育祭が開催されました。当初予定されていたのは、10月7日(日)でしたが、台風の予定だった為、10月8日(祝・月)に開催になりました。

当日は素晴らしい晴天で、綺麗な太陽の日差しが照り、体育祭日和でした。

私は嘉楽学区で育ち、その育った地域の中で、現在は西陣会の一員として働かせて頂いています。

その為、毎年入職前の幼少期から自分の町内の上京ハウスで参加していました。

今年は、初めてヘルパーとして笹屋町二丁目に参加させて頂く事になりました。

笹屋町二丁目に参加されたご利用さんは、7月下旬からマンションで一人暮らしという形でヘルパーを利用して生活をされています。

嘉楽区民体育祭の当日、笹屋町二丁目の方々は、そ

のご利用者さんが安心して過ごせる様な温かいアットホームな空間や環境、出来るだけ多くの競技に参加出来る様に調整して下さった



町内のために全力で!!

り等、たくさんの愛を感じました。そのご利用者さんも、その愛を目一杯感じられ、一生懸命にリレーや綱

引き、玉入れ等の団体競技をメインに参加され、競技後に町内の方々とハイタッチや声を掛け合っておられた姿は、本当に心が温まる光景でした。

また、笹屋町二丁目の方々だけではなく、同じ市民福祉センターの仲間、そのご利用者さんを昔から知っておられる方、また私の事を知って下さっている方々等、本当にたくさんの熱い応援や温かい言葉をかけて頂く事が出来て、嬉しく思いました。

全ての競技や抽選会が終了後、笹屋町二丁目の方から、そのご利用者さんに「また来年もよろしく」や「来てくれて楽しかったよ」等、声をかけて下さると「ありがと〜う」とやり取り等、これから同じ町内で楽しんで暮らせる期待感で一杯でした。

この感謝の気持ちを忘れず、地域の方々が困っておられる際は支えられる様に、また今後もそのご利用者さんを含め、西陣会と地域の方々に支え合っていける様な関係作りに努めていきます。

本当にありがとうございました。

支援センター「きらりんく」

障害者IT事業について

相談員 佐藤 匡

今月の活動日誌に「京都府障害者IT事業」との文言が続きましたが、多くの人は「さて、これは何のことだろう?」と思われたことでしょう。今回はその中から「重度障害者意思伝達装置説明会」について書かせていただきます。

当センターでは、京都府委託の相談支援事業とは別に京都府から障害者IT事業の委託を受けています。その一つとして重度身体障害当事者・家族やその支援者に向けて説明会の開催をしています。ではこの重度障害者意思伝達装置とは何かと言うと、書くことや言葉を発することで自らの意思を表すことが難しくなってきた方がパソコンと特殊なスイッチ、専用ソフトを活用し、文字入力を行うことで自分の意思を伝えることができるのです。

一般的にパソコン操作はマウスを使用するかタッチパネルで操作することになりますが、それが難しくなってきた方はどのように操作するのが実は大切で、それぞれの残存機能に合わせて、普通のスイッチが良いのか、触れるだけで反応するスイッチが良いのか?

視線だけで入力できる操作機械も今はあります。

もちろんこれで万能という訳ではありませんので、アナログ式の文字盤を使う方が有効な方もいると思いますが、この装置を活用することにより、自分ですることの矜持と自ら世界を広げることができます。

ここ10年程継続して開催しており、技術の進歩(物)を感じていますし、横のつながり(人)もできてきています。これからも普及啓発に努めたいと思います。

支援センター「にしじん」

支援者が心身ともに健康であること

相談員 鶴山 良子

上京区障がい児者支援ねつとわーく(上京ねつと)では年四〜五回ヘルパーさん向け学習会を開催しています。十月十二日は今年度第二回のヘルパーさん向け学習会として、バランスヨガのインストラクター福泉慶子さんを講師にお招きして、腰痛予防に効果があるヨガを教えて頂きました。

バランスヨガは、『身体を動かすと同時に、心の動きを感じる。心身のバランスを自然にとる、その手助けをすることで、健康な状態を保ち、本来の美しさを取り戻す』という効果があるようです。ヨガのポーズで血流やリンパの流れがよくなり、呼吸することで体内に酸素を取り入れ、瞑想で自分自身と向き合います。

運動音痴の私は、ポーズをすると呼吸を忘れ、呼吸に意識を向けるとポーズが遅れるといった有様でしたが、続けるうちに体がポカポカと温まり、気持ちもすっきりした感じがしました。

参加頂いた方からも「自分の体を知る機会になった。」「心身共にリフレッシュできた。」「定期的に開催してほしい。」といった感想を頂きました。

地域で生活される障害のある方々のより良い支援をするためには、支援者が

心身ともに健康であることがとても大切だと思います。私自身も今回教えて頂いた事を取り入れて、より良い支援ができるよう心掛けたと思っています。

上京ねつとでは、これからも支援者の心身の健康をテーマとした学習会を取り入れていきたいと考えています。皆さんもぜひ参加してください。



バランスヨーガで心もからだも美しく

路地裏ステーションニュース

西陣児童館

子供の居場所、私の居場所

もと学童クラブ保護者・ボランティア 安藤 佐織

長男二男合わせて7年間学童にお世話になった。長男には障害があるため低学年の頃は迎えに行っており、周りの子どもたちとの関わりを見ていたのだが、複数の学校の子どもたちが集まるなか、お互いに違いを認め合い補える関係が作られていた。インクルーシブな風土がそこにはあった。長男にも他校の友達ができ、学童から一緒に帰ってくるという些細なことでも私にとっては大きな喜びだった。今もそれぞれが児童館に時々遊びに行っており、放課後や長期休暇中の居場所のひとつになっている。そこにはずっと見守り関わってくれた職員の方々がいるからであり、ありのままの自分を受け入れてくれる大人がいる安心感があるのだろう。

それは子どもだけでなく保護者である私にとっても

同じである。長男の就学までは療育でのママたちとの交流が大事な居場所だった。急にその場が無くなり不安な日々だったのだが、学童で悩みを聞いてもらい、相談をするうちにその不安のかたまりが小さくなった。必要であれば行政につないでもらうこともあり、私の生活に無くてはならない存在になっていく。それは今も同じで、近くに行つた時には事務所に寄つて世間話だけしていくことも。

話を聞いて受け止めてくれる人がいて、自分を否定されずに受け入れてくれる場所がある。そこでのお手伝いができたらと、保護者を卒業してもボランティアとして行事に参加することがある。今度はそこが新たな私の居場所となるだけでなく、誰かの居場所となってくれることを願つて。

去る11月11日、京都市障害者スポーツセンター体育館にて、障がいのある子どもに関わるサークル等「合同運動会」が開催され「ういず」からも利用児童が参加しました。

合同運動会には、5つの団体の子ども達が参加します。リレーや綱引きといった定番の競技もあれば、仲間集めゲームや大きな福笑いゲームのような、各団体の「交流」に重きを置いた競技もあります。

また現在は、5つの団体の子どもをごちゃ混ぜにしたチーム編成となっており、競技外での交流も図れるようになっていきます。

しかしそれは、昔からそうだったわけではありません。数年前は団体毎にチーム分けされていて、「これぞ運動会！」という競技で汗を流していました。

京都市障害のある中高生のタイムケア事業「ういず」 進化し続ける合同運動会！

藤賀 一暢

しかしここ数年で各団体の学生・ボランティアから「せつかく5つの団体が集まっているのに交流しないともつたない！」「子ども達はもちろん大人同士も仲良くなりたい！」との声が

増えてきて、合同運動会は現在の形へと変化してきました。

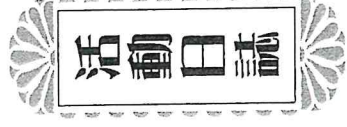
その下地には、運動会当日の半年前から行われるミーティング、そして学習会やレクリエーションを通した日々の交流があります。



広がるパラバルーンと交流の輪

お互いがお互いを知り、顔の見える関係となったからこそ「〇〇したい！」というチャレンジが生まれ、進化を遂げることができたのだと思います。

今年の運動会もそんな和気あいあいとした雰囲気のなか、更なる交流が生まれました。大人達も子どもに負けないくらい楽しめましたよ！



本部業務・公益事業

- 10月 1日 耐震補強工事開始
- 7日 衣笠学区運動会
- 8日 嘉楽学区体育祭
- 11日 西陣会ホームきたまち物件見学(京都教育大付属特別支援学校有友会)
- 14日 市社協助成金贈呈式(浅田常務理事)
- 15日 キャリアパス&人材育成計画推進委員会総務委員会
- 21日 日めが千本1000円商店街
- 22日 産業医面接相談会
- 25日 安全衛生委員会
- 29日 月曜集会

- 11月 1日 MYM学習交流会(自閉症の基本理解)
- 2日 きたまち上京消防署視察
- 6日 レクリエーション委員会
- 6日 障害者雇用セミナー
- 11日 ステップアップ研修(武田理事)
- 11日 胸ドキキックベース大会(MYM)
- 12日 キャリアパス&人材育成計画推進委員会
- 14日 月曜集会
- 14日 働き方改革関連法説明会(宮崎事務局長)
- 20日 ステップアップ研修(武田理事)
- 26日 きょうと福祉人材育

- 29日 京都中央看護保健大
- 成認証制度認証式(宮崎事務局長)
- 産業医面接相談会
- 安全衛生委員会
- 月曜集会
- 学校での講演(浅田常務理事)

- 12月 6日 ネイバーフックきたまち視察(東京都江東区福祉部障害者支援課)
- 10日 キャリアパス&人材育成計画推進委員会
- 11日 月曜集会クリスマス修光学園家族会にて(浅田常務理事)
- 12日 相談係座談会(武田理事)
- 15日 西陣会職員交流忘年会(レクリエーション委員会企画)
- 17日 産業医面接相談会
- 安全衛生委員会
- 桜まつり実行委員会
- 19日 京都市法人監査

西陣児童館

- 10月 1日・15日 京都府放課後児童支援員認定資格研修(野崎)
- 14日 学童クラブ保護者会
- 27日 京都やんちゃフェスタ2018に参加
- 11月 14日 ふれあいトーク烏丸中学(中山・松井)
- 17日 出前児童館(紙皿フリスビーと焼き芋)
- 25日 上京の子ともまつり(鬼塚)
- 27日 12月3日 第一ブロック職員交代派遣研修(野崎)

- 12月 6日 支援ステーション事業
- 「おひさまルーム」
- 19日 合同クリスマス会
- 25日 学童クリスマス会

【居宅サービス係】

- 10月 7日 集団活動
- 10日・11日 京都府強度行動障害支援者養成研修インストラクター(森)
- 13日 21日・28日 集団活動企画「平等院」
- 12日 25日 上京ねつと(岡田高田)
- 18日 日 居宅職員会議
- 18日 日 サイビス提供責任者会議

- 11月 4日 集団活動
- 13日・14日 京都府強度行動障害支援者養成研修インストラクター(森)
- 13日 日 京都市障害者地域自立支援協議会(浅田)
- 20日 京都市居宅介護等事業連絡協議会定例会

- 12月 2日 集団活動
- 5日 企画「料理教室」
- 9日 提供責任者会議
- 居宅職員会議

【ライオン会】

- 10月 8日 嘉楽学区民運動会参加
- 23日 家族会役員会
- 25日 全体行事：ハロウィンお菓子作り

- 11月 2日 指導職研修一名
- 6日 新任職員研修一名
- 26日 日 新任職員研修二名
- 28日 日 京都市虐待防止研修一名
- 全体行事：同志社大学園祭参加

- 12月 3日 家族会交流会
- 4日 管理職研修一名
- 12月 29日 全体行事：ベープサート
- 1月 3日 冬季休業日

きらりんぐ

- 10月 1日 左京介護事業者連絡会
- 5日 北部自立支援協議会運営会議
- 15日 京都市社協日常生活自立支援事業審査会
- 20日 京都府障害者IT事業障害のある人と支援者のパソコン応用講座(21日)
- 31日 日 基幹支援センター会議
- 北部自立支援協議会地域懇談会

- 11月 3日 京都府障害者IT事業重度障害者意思伝達装置説明会(福知山会場)
- 10日 第9期京都発達精神医療ネットワーク研修会
- 15日 相談支援意見交換会(北部自立支援協議会・基幹支援センター共催)
- 22日 障害程度支援区分審査会

- 12月 1日 京都府障害者IT事業・難病支援センター共

- 8日 京都府障害者IT事業重度障害者意思伝達装置説明会(京都市内会場)
- 27日 障害程度支援区分審査会
- 2日 京都市内会場
- 2日 京都府障害者IT事業支援センター部会
- 8日 京都府障害者IT事業重度障害者意思伝達装置説明会(京都市内会場)
- 27日 障害程度支援区分審査会

にしじき

- 10月 10日 強度行動障害支援者養成研修
- 18日 日 医療的ケア専門部会上京ねつと定例会
- 23日 中部自支協運営会議
- 23日 基幹支援センター会議
- 11月 7日 中部自支協事務局会議
- 8日 機能集約合議体
- 13日 14日 強度行動障害支援者養成研修
- 21日 介護職員初任者研修
- 28日 基幹支援センター会議
- 支援センター会議
- 医療的ケア専門懇談会

- 12月 5日 医療的ケア専門部会
- 6日 中部自支協事務局会議
- 20日 18日 日 機能集約合議体
- 20日 18日 日 福祉職場セミナー
- 20日 18日 日 基幹支援センター会議
- 20日 18日 日 中部自支協運営会議

※毎月、施設長会議・主任会議を実施しています。その他、諸事業諸活動においても定例活動を行っております。

センター往来

◎10月1日(月)から12月17日(土)にかけて児童館建物の耐震補強工事と外壁塗装工事を行いました。京都市民福祉センター・西陣児童館の看板も新しくなりました。門を大きく開いて、元気に明るくみなさんをお待ちしています！

◎10月7日(日)小松原北町南部町内会から、シェアハウス小松原の家の入居者と職員が衣笠学区区民運動会に参加しました。皆様との交流を深めながら競技に参加されました。

◎10月8日(月)嘉楽学区区民体育祭に「市民福祉センター」チーム、「西亀屋町」チームでご利用さんとボランティアさんと参加させて頂きました。一丸となり、協力しながら競技に参加しました。地域の皆様のご声援、楽しい一日をありがとうございました。

◎10月11日(木)京都教育大学付属特別支援学校育友会および教職員合計39名の方々が、西陣会ホームきた

まち及びネイバーフッドきたまちの見学に来られました。

◎10月14日(日)京都市社会福祉協議会助成金贈呈式に浅田常務理事が出席し、シェアハウス小松原の家のある小松原北町町内会備品保存のためのロッカー及びリヤカーの購入助成金をいただきました。

◎10月21日(日)めが千本100円商店街に参加し、アクセサリーの販売を行いました。

◎11月11日(日)嘉楽中学体育館にて胸ドキキックベース大会が行われました。ご利用者さんも13名参加されました。また、校庭にて嘉楽わっしょも開催され市民福祉センターとして参加し、岩手のリンゴの販売と餅つきのお手伝い、消防団員として焼きそば販売の担当をさせて頂きました。

◎11月26日(月)「きょうと福祉人材育成認証制度」認証式に宮崎事務局長が出席し、認定証をいただきました。

◎12月5日(水)京都市中部自立支援協議会の方々に、西陣会ホームきたまち及びネイバーフッドきたまちの見学がありました。

◎12月6日(木)東京都江東区福祉部障害者支援課の方3名が、ネイバーフッドきたまち及び西陣会ホームきたまちの視察に来られました。

◎12月6日(木)児童館遊戯室にて、京都府警察署音楽隊による「おまわりさんのコンサート」が開催されました。



心もからだもはずみました!!

◎今年も、京都めいぶるワイズメンズクラブからじゃがいも・かぼちゃの販売ご案内

内をいただきました。皆様にはたくさん購入のご協力をいただき、誠にありがとうございました。

また、11月26日(月)「ふらつと事業助成金」として10万円の助成金を地域活動支援センターふらつとに頂いております。この場をお借りして、厚く御礼申し上げます。

計 報

九月二十一日 西陣児童館の中山あい館長のお母様がお亡くなりになりました。天上での平安をお祈りいたします。

職員人事 (常勤職員)

入 職
 デイセンターふらつと
 四方奈美江(12月1日付)

退 職
 居宅サービス係
 上杉 明由(10月31日付)
 川口 幸(10月31日付)
 西陣会ホームとなり
 藤原 啓太(11月30日付)

住所変更のある方、当機関誌のご不要な方はFAXにて(075)451-5700 返ご連絡下さい。

社会福祉法人 西陣会

- 。法人本部
- 。京都市民福祉センター
- 。地域活動支援センターふらつと
- 。地域生活支援事業
レスパイトサービス
TEL (075) 451-1971
FAX (075) 451-1570
- 。西陣児童館
- 。京都府障害のある中高生の
タイムケア事業 ついず
TEL (075) 451-1971
FAX (075) 451-1570
- 。西陣会居宅サービス係
- 。相談支援事業所 きずな
TEL (075) 477-1101
FAX (075) 477-1591
- 。デイセンターふらつと
TEL (075) 477-1101
FAX (075) 477-1591
- 。西陣会ホームとなり
- 。ショートステイ ゆづ
TEL (075) 476-1306
FAX (075) 477-1591
- 。西陣会ホームきたまち
TEL (075) 476-1355
FAX (075) 476-1355
- 。京都市中部障害者地域生活支援センター にじじん
TEL (075) 477-1101
FAX (075) 451-1369
- 。京都市北部障害者地域生活支援センター きらリンク
TEL (075) 551-0104
FAX (075) 551-0107